

# 平成 26 年度事業計画書

平成 25 年度の事業につきましては、2019 年 RWC 日本開催を見据えての 15 人制日本代表の強化を基軸としつつ、各カテゴリの強化と普及育成活動、集客プロモーションと営業収支の改善に取り組んで参りました。

この中で、15 人制日本代表は、Tier 1 の代表チームとの 4 回のテストマッチにおいて 1 勝を挙げ、欧州遠征におけるテストマッチでも 2 勝を果たすなど特筆すべき成果を上げることができました。また、2020 年のオリンピックを控えたセブンズにつきましても、男子は 4 回のアジアセブンズシリーズで 3 度の優勝とアジア No1 の地位を築きつつあり、女子は IRB セブンズワールドシリーズで初めてベスト 8 入りを果たす等着実に成果をあげて参りました。

一方、財務状況につきましては、オールブラックス戦をはじめとする国際試合において集客および収入の増加を図ることができましたが、トップリーグをはじめとする国内試合における収入は伸び悩み、日本代表強化並びに 2019 ワールドカップ組織委員会の活動の支出を支える財源の確保に大きな課題を抱える状況が継続しました。

平成 26 年度は、引き続き日本代表の強化を図るとともに財務体質の改善に取り組んで参ります。15 人制代表が 5 月アジアファイブネーションズで優勝することにより、2015 年 RWC イングランド大会の出場権を確保することは勿論、6 月のイタリアとのテストマッチに勝利することに焦点を当てております。

また、11 月には NZ マオリの来日および欧州遠征による強化試合を計画しております。7 人制については、男女ともに世界のトップ 8、セブンズワールドシリーズのコアチーム入りを目指し、強化してまいります。

収支改善につきましては、26 年度は一層の諸経費節減に努めるとともに登録料、トップリーグ加盟会費の引上げを実施することと致しました。また下記の重点課題を含む抜本的改善諸施策に積極的に取り組んで参ります。

- ・ マーケティングセールス部門の強化により、チケット及び協賛金収入増加策実施
- ・ 「TL プロジェクト」を立ち上げ、トップリーグの収益改善を図る。
- ・ JRFU 基金」の創設と募金活動による活動資金の拡充

## 26 年度スケジュール

### 国内大会関係

- 第 55 回 YC&AC JAPAN SEVENS  
4 月 6 日(月) 場所:横浜 YC&AC
- 第 15 回 全国高等学校選抜大会  
3 月 30 日(日)~4 月 7 日(月)  
場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- 第 3 回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会  
4 月 4 日(金)~5 日(土) 場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- ウィダージャパンセブンズ 2014  
6 月 8 日(日) 場所:秩父宮
- アシックスカップ 2014 第 1 回全国高等学校 7 人制大会  
7 月 18 日(金)~21 日(月)  
場所:長野 菅平サニアパーク
- 第 10 回全国高等学校合同チーム大会  
7 月 31 日(木)~8 月 3 日(日)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 第 4 回全国高等学校女子 7 人制ラグビー大会  
7 月 31 日(木)~8 月 3 日(日)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平 2014  
9 月 7 日(日)~9 月 8 日(月)  
場所:長野 菅平高原サニアパーク
- 第 5 回全国中学校大会(中学校の部・スクール部)  
9 月 13 日(土)~15 日(月)  
場所:茨城 ケーズデンキスタジアム水戸等
- 第 69 回 国民体育大会 (日本体育協会主催)  
10 月 17 日(金)~10 月 21 日(火)  
場所:長崎県 かきどまり陸上競技場
- ジャパンラグビートップリーグ 2014-2015  
＜リーグ戦＞  
ファーストステージ: 8 月 22 日(金)~10 月 19 日(日)  
セカンドステージ:11 月 28 日(金)~平成 27 年 1 月 11 日(日)  
場所:  
北海道・東北・関東・東海・北陸・関西・中国・四国・九州  
＜プレーオフトーナメント＞  
・セミファイナル 平成 27 年 1 月下旬  
・ファイナル 平成 27 年 2 月上旬  
場所:東京・大阪  
＜ワイルドカード＞  
平成 27 年 1 月 24 日(土)25 日(日) 場所:未定  
＜チャリティーマッチ＞  
平成 27 年 3 月中旬 場所:未定
- 第 27 回 女子ラグビー交流大会(合同)  
11 月 23 日(日) 場所:東京 江戸川陸上競技場
- 第 51 回 全国大学選手権大会  
ファーストステージ/セカンドステージ 未定  
準決勝 平成 27 年 1 月 場所:未定  
決勝 平成 27 年 1 月 場所:未定
- 第 94 回 全国高等学校大会  
12 月 27 日(土)~平成 27 年 1 月 7 日(水)  
場所:大阪 花園ラグビー場
- 第 94 回 全国高等学校大会女子エキシビジョンマッチ  
12 月 27 日(土) 場所:大阪 花園ラグビー場
- 第 7 回 U18 合同チーム東西対抗  
平成 27 年 1 月 7 日(水) 場所:大阪 花園ラグビー場
- 第 22 回 全国クラブ大会  
1 回戦 ~準決勝 12 月~平成 26 年 2 月  
場所:秩父宮・熊谷・花園・宝ヶ池・福岡等
- 第 13 回東西学生クラブ交流会  
12 月中旬 場所:埼玉 熊谷ラグビー場
- 第 11 回クラブユース交流試合  
平成 27 年 3 月中旬 場所:福岡(予定)
- 第 20 回 全国ジュニアラグビー大会  
12 月 29 日(月)~31 日(水)場所:大阪花園ラグビー場
- 第 66 回 全国地区対抗大学大会  
平成 27 年 1 月 2 日(金)、4 日(日)、6 日(火)  
場所:愛知 瑞穂ラグビー場
- 第 45 回 全国高等専門学校大会  
平成 27 年 1 月 場所:兵庫県
- 第 52 回 日本選手権大会 (日程予定)  
平成 27 年 2 月 1 回戦 2 回戦 準決勝 決勝  
場所:未定
- 第 11 回 全国小学生タグラグビー選手権大会  
日程 場所未定
- 第 16 回ジャパンセブンズ大会(女子)  
平成 27 年 3 月 16 日(日)  
場所:愛知 瑞穂ラグビー場

### 国際大会・海外遠征関係

＜高等学校関係＞

- ・サニックス 2014 ワールドユース交流大会  
4 月 28 日(月)~5 月 5 日(月)  
場所:福岡 宗像市 グローバルアリーナ
- ・第 22 回 日・韓・中 ジュニア交流競技大会  
8 月 場所:日本
- ・高校日本代表・海外遠征 平成 27 年 3 月中旬~  
場所:未定

＜女子日本代表 7 人制＞

- ・大学選手権 場所:サンパウロ 8 月 5 日~12 日
- ・AWS 場所:未定 8 月 23 日~24 日
- ・アジア大会 場所:仁川 9 月 28 日~10 月 3 日
- ・AWS 場所:未定 10 月 4 日~5 日
- ・APWS 場所:未定 10 月 22 日~27 日
- ・WSWS 場所:ドバイ 11 月 26 日~30 日
- ・WSWS 場所:ラスベガス 1 月 20 日~27 日
- ・WSWS 場所:アトランタ 2 月 11 日~15 日
- ・WSWS 場所:サンパウロ 2 月 16 日~24 日
- ・香港セブンズ 場所:香港 3 月 26 日~28 日
- AWS : アジアウィメンズセブンズ
- APWS : アジアパシフィックウィメンズセブンズ
- WSWS : ウィメンズセブンズワールドシリーズ

<男子7人制日本代表>

- ・代表候補オーストラリアキャンプ 7月6日～13日
- ・WUS 場所:サンパウロ 8月6日～12日
- ・HSBC ASS 場所:未定 8月28日～9月1日
- ・HSBC ASS 場所:未定 9月18日～22日
- ・アジア大会 場所:韓国 9月27日～10月3日
- ・SWS 場所:オーストラリア 10月9日～13日
- ・HSBC ASS 場所:未定 10月30日～11月3日
- ・SWS 場所:ドバイ 11月27日～12月1日
- ・SWS 場所:南アフリカ 12月1日～8日
- ・SWS 場所:ラスベガス 1月22日～27日
- ・SWS 場所:ウェリントン 1月27日～2月9日
- ・香港セブンズ 場所:香港 3月27日～29日
- ASS : アジアセブンズシリーズ
- SWS : セブンズワールドシリーズ

<男子7人制ユース代表>

- ・ユースオリンピックゲームズ 8月16日～28日

<女子7人制ユース代表>

- ・海外遠征 8月(予定)

<U20 日本代表>

- ・JWRT 場所:香港 4月1日～20日

<15人制日本代表>

(国際大会)

- ・アジアパシフィックドラゴンズ戦 場所:花園 4月26日
  - ・アジア五カ国対抗
    - フィリピン戦 場所:マニラ 5月3日
    - スリランカ戦 場所:瑞穂 5月10日
    - 韓国戦 場所:仁川 5月17日
    - 香港戦 場所:国立競技場 5月25日
  - ・リポビタンDチャレンジカップ
    - サモア戦 場所:秩父宮 5月30日
    - イタリア戦 場所:秩父宮 6月21日
  - ・IRBパシフィック・ネーションズカップ
    - カナダ戦 場所:バンクーバー 6月7日
    - アメリカ戦 場所:ロサンゼルス 6月14日
  - ・NZマオリ・オールブラックス戦
    - 場所:神戸 11月1日
    - 場所:秩父宮 11月8日
- (海外遠征)
- ・欧州遠征 未定

## 各委員会関係

### 1. 総務委員会

#### 法務部門

- (1) 業務委託、スポンサー契約等の典型例の雛形化
- (2) 協会の判断・決定に関する紛争の法廷闘争化防止のためのスポーツ仲裁機構の有効活用を検討する。
- (3) その他必要事項を実施する。

#### 環境部門

##### (1) 事業活動

- ① 日本協会『環境保全活動推進宣言』に基づいた推進活動の展開
- ② 地球温暖化防止のための国民運動『チャレンジ25キャンペーン』(環境省主管)加盟メンバーとして環境保全活動及び省エネルギー啓発の推進継続
- ③ 各委員会との連携・協力体制により環境PR活動の推進を図る
- ④ 日本代表チーム、トップリーグとのコラボレーションによる相乗効果を図る
- ⑤ JOC、日本スポーツ振興センター、環境省等との連携
- ⑥ JOC、環境省主催の環境会議・セミナーへの積極的参加と他団体の取り組み事例の 研究継続
- ⑦ 2016 年リオデジャネイロオリンピック、2019 日本WC杯、2020 年東京オリンピック(決定)に向けての環境PRの発信

##### (2) 具体的実施計画

###### ① 広報活動(環境啓発PR)

広報委員会との連携によりHP、機関紙、プログラム、メンバー表等の活用

公式試合開催時における観客・ファンへの環境啓発活動の推進

環境横断幕(08年作成済)掲示、ポスター掲出活用、試合時大型モニター・MCの活用、環境省とのタイアップによる「チャレンジ25」PRブース出展等

「FOR ALL, FOR EARTH.」の日本協会タイライン活用

「チャレンジ25キャンペーン」の露出PR

- ② 秩父宮ラグビー場での「エコキャップ運動」の継続とキャップ回収実績、資源再利用による提供ワケチン数、CO2削減数値のHP上での定期的報告
- ③ 協会役員・選手・関係者・ファンへの「チャレンジ25」参加への呼び掛け
- ④ 省エネルギー、エコ商品利用、試合観戦時の公共交通機関利用の推奨
- ⑤ 使用済みラグビー用品(ボール、スパイク、ジャージ等)のエコ利用例の研究調査
- ⑥ すべての実践活動を広報PRに連動させ、更なる環境啓発に向けた相乗効果を図る
- ⑦ ISO取得に向けた研究と検討

### 2. 財務委員会

財務面から協会運営改善に向けた提言を行う。

- ① H26年度、H27年度予算策定及び、実施状況について。
- ② 各委員会の運営課題抽出と対応施策検討について。  
(各委員会との合同打ち合わせを通じた協働)

### 3. 国際委員会

#### ◎重点目標

<JRFU 戦略計画に基づく国際戦略の遂行>

1. 国際戦略の策定と実行
2. 代表事業委員会、事業委員会と連携した、強化・事業両面での効果的な国際試合編成の交渉
3. RWC2019 へ向けた国際大会運営力と海外チーム受入れノウハウの蓄積と向上
4. 海外協会との戦略的提携の交渉と実行(スコットランド協会との提携プロジェクトの推進)

5. IRB セブンズワールドシリーズ開催継続(2016以降の検討と入札手続き)
6. アジアでのリーダーシップを取るための(アジアンスクラムクラブプロジェクトと中心とした)各種活動の展開
7. 海外からの情報収集/発信の強化/積極的なコミュニケーション/ネットワーク作り
8. RWC2019 組織委員会との連携

＜セブンズオリンピック採用に伴う対応＞

1. JOC/東京オリンピック組織委員会とのコミュニケーション及びネットワークづくり
2. 他競技国際担当者との情報交換・交流等
3. オリンピック関連情報収集及び分析

＜一般項目＞

(1) IRB関連

- ① IRB 理事会・EXCO、その他各種国際会議等に対する周到な準備とフォロー
- ② IRB 議事録の管理・活用/IRB 通達およびリリース翻訳の各部署への提供
- ③ IRB の各種規定の管理
- ④ IRB および IRB 理事国との諸連絡の強化

(2) アジア理事会関連

- ① アジアラグビー協会理事会・EXCO、その他各種国際会議等に対する周到な準備とフォロー
- ② アジアンスクラムプロジェクトの体制整備と積極的な取り組みと対外的アピール
- ③ アジアラグビー協会の議事録の管理・活用
- ④ アジア協会および理事国との諸連絡の徹底。

(3) 国際試合関連業務の強化

- ① 計画的に国際試合および海外チーム受け入れ計画を作成し実施し、コスト管理と効率化を図る
- ② リエゾンオフィサー育成およびリスト化による効率的運営方法の検討

(4) 国際関連一般

- ① 国際関連業務全般へのサポート
- ② 海外 VIP 来日時 の 確 実 な 対 応
- ③ クリアランスおよび海外遠征許可関連業務の徹底

## 4. 広報・プロモーション委員会

事業方針			
協会の理念やビジョン、ミッションの具現化を基本に、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションに努め、ラグビーの認知度・人気度の向上やラグビーファミリー増大につなげるために、社会から好意・好感を得られるような広報施策を積極的に展開する。さらに、中長期的に日本ラグビーのブランディング活動を継続実施する。			
活動の目標			
(1) 「メインカスタマー」であるスポーツメディアとの健全・良好・緊密な関係構築 (2) テレビ・雑誌・地方メディアなど新規カスタマー開拓 (3) 協会独自の Web・SNS・印刷媒体を利用したファンに対する直接的な情報発信 (4) 日本ラグビーのブランディングへの取り組み (5) ラグビーワールドカップ2019(RWC 2019)に向けてラグビーワールドカップ2019組織委員会(IR2019)との広報・プロモーション活動の連携			
事務局広報・プロモーション部			
施策(大項目)	施策 具体項目	施策の達成に向けた取組み	具体的取組み
MEDIA RELATIONS	スポーツメディア	① 情報発信 (メディアリリース)	・メディア露出につながるような正確でタイムリーな情報発信 ・正確でタイムリーなリリースの配信に向けた事務局内の体制構築 ・事実の提供だけでなく取材意欲を喚起するようなリリースの作成
		② 競技時メディアオペレーション	・適切な取材環境の確保と提供 ・記者会見・ミックスゾーンなどでの適切な取材機会の設定と提供 ・他のステークホルダー(ファン・チーム)の利益に配慮したメディアコントロール
		③ ラグビー担当記者との健全・良好・密接な関係構築	・新聞(通信社)を中心としたマスメディアへの露出の働きかけ ・記者の新規参入の促進 ・ラグビーのメディア露出につながる話題の提供
		④ オリンピック担当記者との密接な関係構築	・通常はラグビーを担当していないリオ五輪取材担当記者との関係構築 ・ラグビーやセvensへの理解を深めよう取材機会・懇親機会の設定 ・協会主導による選手・周辺取材の設定とコントロール
		⑤ 東京運動記者クラブ幹事会(部長クラス)との密接な関係構築	・RB幹部と記者クラブ幹事会の懇親会などの定期的な開催 ・各社部長への定期的な訪問による情報提供と情報収集
	非スポーツメディア	① 情報番組・バラエティなどでのラグビー露出促進	・チームや選手の紹介・仲介による企画実現へのサポート ・番組担当者との継続的な関係構築 ・協会からの情報提供や企画提案による露出実現
		② ファッション誌・ライフスタイル誌などへのラグビー記事掲載促進	・従来ラグビー露出が少ないカテゴリーの雑誌の編集部キャラバン実施 ・試合・大会への編集部招待によるラグビー理解促進と関係構築 ・モデルへの選手起用など企画実現へのサポートや独自企画の提案
		③ 地方メディア(地方紙・ミニコミ誌など)へのラグビー記事掲載促進	・トップリーグ地方開催時の地元メディアへの働きかけ ・代表・話題の選手の出身地のメディアへの情報提供や取材協力 ・地方紙東京支社との関係強化と継続的な情報提供・情報交換

PUBLIC RELATIONS	基礎資料整備	ファクトブックなどのラグビーに関する基礎資料の整備と充実	・日本ラグビーの現状を俯瞰できるような資料の整備 ・問い合わせの多い競技人口などのデータの整備と資料の作成 ・トップリーグ 代表のステークホルダー向け基礎資料の作成
	海外への情報発信	RWC 2019ホスト国としての日本ラグビーを世界に紹介する資料整備	・日本代表の欧州遠征に合わせた英文ガイドの作成 ・RB Exhibitionへの出展などの際に利用できる英語の紹介ビデオ制作
OWNED MEDIA SOCIAL MEDIA	デジタルメディア (Web・SNS)	①協会公式サイト(代表・セブンスサイトを含む)の全面刷新	・選手情報・チケット情報などファンが求める情報の視認性・閲覧性の向上 ・ファン向けと協会・競技者向けコンテンツを分離し、それぞれの利便性の向上 ・過去資料の閲覧性の向上
		②協会公式サイトでの情報発信とサイト管理・運営	・速報性・正確性の一層の向上 ・メディアのフィルターを通さないストーリー性情報の提供 ・メディアが伝えきれない豊富な情報の提供
③SNS (facebook, Twitter)での情報発信		・公式発表の場である公式サイトとの差別化を図り、話題の多様化を推進 ・facebookではファンとのエンゲージメントの向上 ・Twitterは速報性の向上	
	機関誌	印刷媒体から電子媒体への転換	・電子化による購読数の増加と経費削減の促進 ・競技団体の機関誌として地域の話題にまで至る網羅性の一層の追求 ・競技団体の機関誌として記録性の一層の追求
CONTENTS	記事・写真	①メディアに頼らずにファンに情報提供できる記事・写真の確保	現在のメディアカバレッジではファンに伝えきれない情報の提供 ・自分たちのメッセージをメディアのフィルターを通さずにファンへ発信
		②メディアサポート	新聞社・通信社などへの写真提供による記事掲載の促進
	ビデオ	①競技団体ならではの独自コンテンツの開拓	・自分たちのメッセージをメディアのフィルターを通さずにファンへ発信 ・記者会見やコーチ・選手インタビューなどのファンへの情報提供 ・ロッカー内などメディアが取材できないチーム・選手の姿のファンへの発信
		②メディアサポート	チームミーティング、ロッカー室などメディア取材不可のエリアの映像提供
英文ニュース	日本ラグビーの世界への発信	英語サイトでの継続的な情報発信 ・英文リリースの発行 ・RB公式サイトへの英文ストーリー・写真の提供	
BRANDING	日本ラグビーのブランディング	① Rugby Valuesの再定義	・日本ラグビーの実態に関する顧客調査の実施 ・ラグビー界として広く一般に訴えていくべき Rugby Valuesの再定義
		②ブランディングプランの策定	調査結果や再定義した Rugby Valuesに基づいたブランディングプラン策定 ・RBの Character Buildingのブランディングとの連携 ・RWC 2019のビジョンとの連携
		③ラグビーブランドの発信	・ブランディングの徹底 ・ラグビーブランド発信ツールの作成 ・ラグビーエバンジェリストの育成・確保や組織化、対外発信
COMMUNICATIONS STRATEGY PLANNING	広報戦略の企画・立案	①短期戦略の企画・立案	2014年 RWC 2015予選、アジア競技大会 2015年 RWC 2015、リオデジャネイロオリンピック予選 2016年 リオデジャネイロオリンピック
		②中・長期戦略の企画・立案	RWC 2019に向けた長期的コミュニケーションプラン ・リオ、東京両オリンピックに向けたコミュニケーションプラン RWC 2019、TOKYO 2020以降に向けたコミュニケーションプラン
	事務局各部門への支援	①代表強化部	代表ブランドの価値向上につながる情報発信 ・男女セブンス代表のオリンピック対策 他競技視察など
		②マーケティング・セールス部	協賛社のスポンサーメリットに考慮したメディア露出創出
		③普及・育成部	底辺拡大につながる活動の露出拡大 ・地方開催イベントの露出拡大
		④理事会	理事会後の専務理事ブリーフィングを通じた継続的な情報提供
		⑤その他	MPA事業の特設サイト・フライヤー作成など他部門の広報ツール制作支援
	危機管理	①危機管理広報対応	的確な対応 ・情報管理体制の構築
		②各カテゴリー代表へのリスクマネジメント講習	高校代表など若年層へ講習 ・メディア対応機会が急増している女子代表 (15人制、7人制)へのレク
		③協会全体でのリスクマネジメントガイドラインの検討・作成	・ソーシャルメディアガイドラインの策定
ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会への広報支援	①組織委員会の情報発信への支援	発信するメッセージの検討・策定 ・プレスリリースの作成と発信 ・メディアからの取材対応	
	②開催候補都市の地元メディアへの働きかけにおける支援	地元メディアへの情報提供による関心の喚起 ・地元メディアからの取材対応	
	③RB/RWC L、TOKYO 2020などとの連携	・RB/RWC Lと連携した国際的な広報活動の実施 ・東京オリンピック組織委員会と連携した広報活動の実施	
広報・プロモーション委員会			
Inner Communications	インナー広報体制の確立	メール機能による三地域・都道府県協会への情報発信体制の確立	体制確立とあわせて、発信する情報内容 (コンテンツ)の作成
	地域協会広報委員会との連携	①試合告知などの広報活動	地域協会、都道府県協会と連携し、告知ツールの提供などの支援を実施
		②競技時メディア対応	地域協会、都道府県協会と連携・役割分担し、的確なメディア対応の実施

## 5. マーケティング・セールス委員会

### マーケティング部門

#### 1：マーケティング収入拡大に向けての施策

マーケティング収入(放送権、スポンサーシップその他)の拡大に向け短期・中長期視点で取り組んでいく  
既存スポンサーの満足度向上による実績の維持及び既存協賛物件の新規セールスの獲得  
新規大会でのセールス企画の開発と実現を図る  
放送機会の実現を常に意識しラグビーコンテンツの価値向上を目指す  
目標値 (1) ～ (4) 合計 12 億円

##### (1) 放送権

リポビタンD チャレンジをはじめ特に A5N の香港戦の日本代表戦の放送実現を目指す  
放送界の環境変化(インターネット)をウォッチ、新しい可能性を探る  
単発の試合の放送ではなく、放送局と 2015 年ワールドカップ、2016 年オリンピックに繋がるパートナーシップ  
関係の構築を目指す

##### (2) 大会スポンサー

新規トップリーグスポンサー開拓に取り組む  
関連企画の開発とセールスの実現を図る

##### (3) 日本代表スポンサー

オフィシャルスポンサーに続くオフィシャルサプライヤーの獲得を目指す  
IRB ジャージ広告レギュレーション変更に伴う新規作業の取り組みを図る

##### (4) その他

協会の課題解決や新大会創設に繋がる協賛企画の開発とプロモートを目指す  
IT やライツを活用した新規収入源の開発に取り組む  
2016 年度以降のマーケティングスキームの検討に着手する

#### 2：マーケティング推進のための体制の強化

マーケティング委員会の委員とサポートによるセールスパワーのアップを図る  
代理店との連携強化によるセールス活動の拡充を図る  
既存協賛社とのリレーションの強化によるパートナーシップ作りを目指す

### チケットセールス部門

#### 1.部門ミッション

- (1) チケット販売による集客・収入の確保(収益体質の転換)
- (2) 2019年度に向けての3Sの基盤構築(集客・収集・仕組みづくり)
- (3) ラグビーファミリー総合力発揮のための求心力の源となる(関連部門・外部との連携強化)

#### 2. 2014年度目標

集客数 665,000人 (前年見込み比 114%)

収入 755,500千円 ( " 107%)

※東京セブンズ除く

(内訳)

(単位:人)

	26 年度計画	25 年度実績	伸び率
国際試合	80,000	91,278	88%
トップリーグ	450,000	365,491	123%
大学選手権	85,000	91,148	93%
日本選手権	45,000	※45,000	100%
ジャパセブンズ大会	5,000	2,708	185%
合計	665,000	582,825	114%

(単位:千円)

	26年度計画	25年度実績	伸び率
国際試合	115,000	183,507	63%
トップリーグ	427,500	300,000	142%
大学選手権	136,000	150,408	90%
日本選手権	72,000	72,000	100%
ジャパンセブンズ大会	5,000	2,194	228%
東京セブンズ	0	70,000	-
合計	755,500	778,109	97%

#### ◆推進課題

1. コアファンの拡大
  - (1)ロイヤルカスタマーの育成
  - (2)メンバーズクラブ拡大の運営戦略(ポイント制導入によるロイヤルカスタマーの囲い込み)
  - (3)大会毎の的確な顧客ターゲット戦略の実施
2. 販売ネットワークの構築による顧客基盤の拡大 (CRMの推進及び売るためのパイプ作り/告知強化)
  - (1)競技者登録DBの活用によるダイレクトコミュニケーション
  - (2)メンバーズクラブ、モバイル会員を集客の柱とする顧客基盤の拡大
  - (3)公式販売サイトチケットラグビーへの顧客集約
  - (4)協会役員DBの推進
  - (5)開催地・三地域・各チーム・大学・企業との集客のためのパイプ作り
  - (6)集客関連データに基づく行動/チケットラグビーデータによる分析力の向上
3. 販売システムの更なる強化
  - (1)チケットラグビーシステムのPDCAサイクル展開によるシステムの拡張
  - (2)集客140万人に対応できるシステムの構築
  - (3)販売方法の効率化
  - (4)チケット販売クレームの撲滅
4. チケットプロモーション企画と活動の推進(関連部門との連携強化)
  - (1)広報・プロモーションとの連携による告知力の強化と新規ファン層への働きかけ
  - (2)事業・トップリーグ部門との連携によるエンターテインメント性の追求
  - (3)OCとの連携によるRWCに繋がる集客拡大策と販売システムの共有
  - (4)熱心な外部団体や個人との連携(JRFU一元管理体制の実現)
5. 収益体質への転換
  - (1)トップリーグ改革による収益体質への転換
  - (2)招待券発行ルール化
  - (3)会員区分の見直し

## 6. 競技運営委員会

トップリーグを含む全ての日本協会主催試合及び各種大会の事業企画、運営の遂行。また、マーケティング・セールス部との関連を更に図り集客・収益の拡大を目指す。

### 1. 目標

- (1)集客目標 665,000 人  
※ マーケティング・セールス委員会参照
- (2) 収益目標 755,500 千円  
※ マーケティング・セールス委員会参照

国際試合 5月 A5N 2試合 愛知(5/10)、東京(5/25)



6月 PNC大会 国内開催なし

リポDチャレンジ 2試合 未定(5/31) 東京(6/21)

A5Nは、ラスト国立開催の成功を実現させる。収支はリポDチャレンジ(VSイタリア戦)に最大の精力を集中し成功をめざす。また、国際部連携し中長期にわたる国際試合計画を立案する

(3) 大学選手権・日本選手権について

大学選手権・日本選手権の集客・収益向上に向け諸施策の企画を遂行。

大学選手権大会新方式3年目として、更なる価値向上を図る。また、新方式も検討。

(4) セブンズ大会

6月 国内大会の実施

(5) トップリーグ

・1ST 8月22日(金)～10月19日(日) 56試合

・2ND 11月29日(土)～1月10日(土) 56試合

・PO、WC 1月24日(土)～2月1日(日) 9試合 計121試合

2. 前(1)の数値目標を達成するため、各種集客活動を企画・推進し、2019年に繋がる中長期の集客拡大策を展開する。
3. TLアプリケーション(モバイル)を利用し、メンバーズ会員の増大策を推進。また、新規ファン獲得施策により収益増を目指す。
4. 地域(開催地)協会への事業運営の理解活動を通じ、全事業推進並びに経費削減を図る。

### 企画・競技運営部門

1. 日本協会主催試合での企画・競技運営を実行し、選手及び観客が満足する試合環境を実現する。
2. 効率的な試合運営を行い、試合経費の削減を図る。

### 国体部門

1. 第69回国体開催に関する打合せを実施する。  
長崎県実行委員会・長崎市実行委員会  
九州ラグビーフットボール協会・長崎県ラグビーフットボール協会
2. 平成27年度以降の開催予定県との打ち合わせを行う。  
和歌山県(27年)・岩手県(28年)・愛媛県(29年)
3. 平成32年第75回国体予定地(鹿児島県)の競技会場視察を実施する。
4. 国体部門会議の開催  
7人制女子の部導入に伴う諸問題や、その他の事項を検討する。
5. 第69回国民体育大会について  
大会期間:10月17日(金)～10月21日(火)  
(1) 組み合わせ抽選会 9月6日(土)午後1時～ 日本ラグビーフットボール協会 会議室  
(2) 代表者会議 (成年)長崎市 10月18日(土) ・(少年)長崎市 10月16日(木)  
(3) 表彰式  
・(成年)長崎市営ラグビー・サッカー場 10月20日(月) 午後3時  
・(少年・総合)長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場 10月21日(火) 正午
6. 開催地との意見交換会  
・10月20日(月) 18:00～ 場所未定
7. 第69回長崎県開催に於ける強化コーチの育成事業を行う。

### 社会人部門

1. トップリーグを除く社会人ラグビーを発展させるための諸施策を実施(三地域協会との連携)
2. 第55回 YCAC 7人制大会への協力  
[4月6日(日)開催: 横浜 YCAC] 出場チーム 計16チーム(大学、社会人、クラブ)
3. 主要試合等に社会人チームへ観客動員の協力依頼をする
4. 第69回 国民体育大会(長崎県開催)への協力・参加

### 大学部門

1. 大学選手権大会方式の更なる改編を目指す。

2. 試合日程等(地域協会含め)を検討する
3. 交流試合を実施し、強化につなげる
4. 大学チームへ観客動員策を実施する
5. その他必要事項を実施する

## クラブ部門

1. 普及活動
  - ・高校・大学を卒業した選手が参加しやすい環境をつくり、クラブチームの普及をはかる。
  - ・15人揃わないチームでも、試合ができる環境(合同チーム・レンタル選手制度等)をつくり、ラグビーの普及を目指す。
2. 全国クラブ大会
  - ・2014年度全国大会クラブ大会は、参加チーム数を13チームとし、全国を9ブロックに分け全国各地域から参加できる大会としラグビーの活性化につなげる。
  - ・全国9ブロックの地域分け  
北海道・東北・北関東甲信越・首都圏・東海北陸・近畿・中国四国・九州北・九州南  
上記9ブロックから、各1チームが参加。  
9ブロックからの選出チームの他に、各地域協会からの推薦4チーム(関東協会1チーム、関西協会2チーム、九州協会1チーム)が出場。合計13チームで実施。
3. 「安全なラグビーの実現」
  - ・安全教育の徹底、・無理のない大会づくり ・マウスガード、ヘッドギヤーの装着率の向上
4. クラブ大会の開催
  - (1) 第22回全国クラブ大会
  - (2) 学生クラブ東西交流フェスティバル IN 菅平2014
  - (3) 第13回東西学生クラブ交流試合
  - (4) 第11回クラブニュース交流試合

## 7. トップリーグ委員会

トップリーグ中長期事業計画に基づいた活動の展開。16チームによる方式の2年目の遂行

- I. 2014年度 集客目標 45万人(前年比123%)
  - ・集客向上が図れる会場へのシフトを図り、集客目標達成を狙う。
  - ・単発開催地でのチケット販売協力の促進。
2. 2014年度 FOR ALL活動
  - ・FOR ALL活動の拡大・充実
  - ・ファン、日本協会関係者、地域協会関係者、加盟企業、選手に至る幅広い展開
  - ・活動を継続し、更なる発展を狙う。
3. トップリーグ事業部の充実
  - ・人の拡充検討、実現へ向け取組。
  - ・普及活動並びに試合運営の精度をさらに向上させる。
4. 社会貢献活動への取り組み
  - ・チャリティーマッチの開催
  - ・TRY FOR GREEN活動展開
  - ・チャレンジ25への参加
5. 地域協会、開催地協会との連携強化
  - ・開催協会に対し、試合運営に関わる諸課題を公有化し、観客や選手に喜ばれる環境の整備
  - ・普及、集客増等を目指した試合運営精度の更なる発展
6. 会場開催地の決定
  - ・集客率の高い会場の設定。魅力あるカーディングの実現。
  - ・経費効率を考慮した会場決定(1会場2試合の推進)
7. 加盟企業との連携
  - ・各種会議の開催(チーム代表者、チーム運営者)
  - ・各種普及活動並びにイベント等への連携作業を促進
8. 価値向上へ向けての強化
  - ・TV等への浸透策の検討と実施
  - ・新聞、雑誌等への露出拡大策の検討と実施

9. 普及分野の強化
  - ・集客を念頭に入れた普及活動の展開
  - ・地方会場での集客活動の強化
  - ・FOR ALL活動の強化
  - ・ラグビーの普及
10. 日本代表活動への協力
  - ・加盟企業による代表活動協力体制の強化

## 8. 代表委員会

### 15人制日本代表

#### (1) 活動予定

4月 7日～5月 25日 スプリングキャンプ-A5N	6月 14日 vs.USA
4月 26日 vs. 未定	6月 21日 vs.Italy
5月 3日 vs. Philippines	7月 14日～18日 サマーキャンプ(菅平)
5月 10日 vs. Sri Lanka	9月 21日～23日 ミニキャンプ(未定)
5月 17日 vs. Korea	11月 欧州ツアー
5月 25日 vs. Hong Kong	11月 1日 vs.NZ Maori
5月 25日～6月 22日 PNC	11月 8日 vs.NZ Maori
5月 30日 vs.Samoa	
6月 7日 vs. Canada	

#### (2) 目標

- ① W杯出場権獲得 - A5N 全勝
- ② PNC 全勝
- ③ イタリア戦勝利
- ④ 11月テストマッチシリーズ勝ち越し

#### (3) 強化ポイント

- ① ストレングス(S&C 能力)ならびにスピードの向上
- ② 安定したセットプレー(スクラム/ラインアウト)からの攻撃パターンの確立
- ③ DFシステムの確立

### Jr. JAPAN

#### (1) 活動予定

2月下旬 PRC 直前合宿  
2月下旬-3月 PRC

#### (2) 目標

- ① PRC 勝ち越し
- ② U20 世代の強化
- ③ 世界トップレベルの経験を通し JAPAN へ選手を多く輩出する

#### (3) 強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② アタック(Japan Way)の習得

### U20 日本代表

#### (1) 活動予定

4月1日～20日 JWRT(香港)  
11月 S&C ワンデーセッション  
12月 S&C ワンデーセッション  
1-3月 JWC 強化合宿予定

#### (2) 目標

- ① IRB ジュニアワールドトロフィー優勝

#### (3) 強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② セットプレーの安定
- ③ 組織的アタック力の向上

## 7人制日本代表・学生日本代表(男子)

### (1)活動予定

4月15日～17日 シニアアカデミー	10月9日～13日 SWS(Gold Coast)
5月13日～15日 シニアアカデミー	10月23日～30日 シニアアカデミー
6月3日～9日 シニアアカデミー	10月30日～11月3日 HSBC アジアシリーズ(場所未定)
6月24日～26日 シニアアカデミー	11月22日～27日 シニアアカデミー
7月6日～13日 代表候補オーストラリアキャンプ	11月27日～12月1日 SWS(Dubai)
8月1日～6日 シニアアカデミー	12月1日～12月8日 SWS(South Africa)
8月6日～12日 WUC(サンパウロ)	1月17日～21日 シニアアカデミー
8月20日～28日シニアアカデミー	1月22日～27日 SWS(Las Vegas)
8月28日～9月1日 HSBC ASS(場所未定)	1月27日～2月9日 SWS(Wellington)
9月12日～18日 シニアアカデミー	2月18日～29日 シニアアカデミー
9月18日～22日 HSBC AS(場所未定)	3月7日～26日 シニアアカデミー
9月23日～27日 男子7人制代表合宿	3月27日～29日 香港セブンズ
9月27日～10月3日 Asian Games/アジア大会	3月27日～29日 香港セブンズ
10月6日～9日 シニアアカデミー	

SWS:セブンズワールドシリーズ ASS:アジアセブンズシリーズ

### (2)目標

- ① アジア大会優勝
- ② SWSシリーズTop8
- ③ 世界学生選手権ファイナリスト

### (3)強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② 持久力の向上
- ③ スピードの向上

## 女子日本代表

### 1. 女子15人制日本代表

#### (1)活動予定

アジア3カ国対抗直前合宿  
アジア3カ国対抗

#### (2)目標

- ① アジア3カ国対抗優勝

#### (3)強化ポイント

- ① フィジカル(S&C 能力)の向上
- ② DF能力の向上
- ③ ゲーム理解力の向上

### 2. 女子日本代表・学生日本代表 7人制

#### (1)活動予定

4月14日 女子代表トライアウト(辰巳)	10月16日～22日 APWS直前合宿(未定)
5月20日～25日 ミニキャンプ(孀恋)	10月22日～27日 APWS(未定)
5月22日～7月8日 海外遠征(予定)	11月22日～26日 WSWsドバイ直前合宿(未定)
7月25日～8月4日 大学選手権国内合宿	11月26日～30日 WSWsドバイ大会
8月5日～12日 大学選手権(サンパウロ)	1月14日～20日 ラスベガス直前合宿(未定)
7月25日～29日 海外強化遠征国内直前合宿	1月20日～27日 ラスベガス(ラスベガス)
7月30日～8月10日 海外強化遠征(予定)	2月4日～11日 WSWsアトランタ直前合宿(未定)
8月20日～27日 国内強化合宿(未定)	2月11日～15日 WSWs(アトランタ)
8月23日～24日AWS(予定・場所未定)	2月16日～24日 WSWs(サンパウロ)
9月23日～28日 アジア大会直前合宿	3月21日～26日香港セブンズ直前合宿(未定)

9月28日～10月3日 アジア大会(仁川)  
10月4日～5日AWS(予定・場所未定)

3月26日～28日 香港セブンズ(香港)

AWS:アジアウィメンズセブンズ  
WSWS:ウィメンズセブンズワールドシリーズ

APWS:アジアパシフィックウィメンズセブンズ

(2)目標

- ① アジア大会優勝
- ② WSWSシリーズコアメンバー入り
- ③ 世界学生選手権ファイナリスト

(3)強化ポイント

- ① ストレングスの向上
- ② スピードの向上
- ③ 体重増加
- ④ コンタクトスキルの向上
- ⑤ タックル力の向上
- ⑥ コンディショニング能力の向上

### U18 男子7人制代表

(1)活動予定

6月 アカデミー	11月 アカデミー
8月10日～14日 アカデミー	2月 アカデミー
8月16日～28日 ユースオリンピックゲームズ	

(2)目標

- ① ユースオリンピックメダル獲得

(3)強化ポイント

- ① フィジカル(S&C)能力の向上
- ② DF力の向上
- ③ ゲーム理解力の向上

### U18 女子7人制代表

(1)活動予定

4月アカデミー(サニックスワールドユース)	12月 アカデミー
5月 アカデミー	1月 アカデミー(習志野自衛隊)
7月 アカデミー	3月 アカデミー
10月アカデミー	

(2)目標

- ① 世界レベルの経験

(3)強化ポイント

- ① フィジカル(S&C)能力の向上
- ② スピードの向上
- ③ コンタクトスキルの向上

### RWC2019 日本代表戦略室

(1)RWC2019に向けた強化事業

- ① 選手強化(タイト・ファイブ、TID ユースキャンプ)
- ② スクラム・プロジェクト
- ③ 大学生エリート選手の強化策に関する検討
- ④ 拠点プロジェクト(新国立競技場への設備提案)
- ⑤ スポーツ・サイエンス・プロジェクト(用具開発など)

(2)RWC2019を通じたエリート選手の発掘育成システム(パスウェイ)の再構築事業

- ① U17 ブロック・トライアウト
  - ② 測定データ・マネージメント(代表カテゴリー選手、代表候補選手)
  - ③ S&C に関する情報交換会
- (3) 種目転向 TID(タレント発掘育成) 事業

## **9. 普及・競技力向上委員会**

### **普及育成部門**

#### ＜活動方針＞

「JRFU 戦略計画 2010-2019」に掲げるラグビーファミリーを拡大するため、小学校から中学生年代を対象にラグビーの認知度を高めるとともに交流を通じてプレーヤーの育成を図る。

#### (1) 小学生

##### ＜目的＞

競技人口の拡大と一貫指導体制構築へ向けた指導者を養成する。

##### ＜具体的な取り組み＞

- ① ラグビースクールプロモーション講習会の実施
- ② トップリーグ For All ミニラグビーフレンドリーマッチの開催
- ③ ミニラグビー指導書の作成と活用
- ④ ミニジャンボリー、地域ブロック大会等活動の「場」の創出
- ⑤ 指導者の資質向上
- ⑥ 女子委員会との連携

#### (2) 中学生

##### ＜目的＞

競技人口の拡大と一貫指導体制構築へ向けた指導者を養成する。

##### ＜具体的な取り組み＞

- ① 全国中学生大会の開催
- ② 全国ジュニアラグビー大会の開催
- ③ ジュニアジャンボリー、地域ブロック大会の助成
- ④ ジュニアラグビー指導書の作成と活用
- ⑤ 女子委員会との連携

#### (3) タグラグビー

##### ＜目的＞

小学校教育現場へのタグラグビーを普及する。

##### ＜具体的な取り組み＞

- ① エデュケーター養成講習の実施
- ② ティーチャー養成研修会の実施について
- ③ 教育現場への道具提供
- ④ タグラグビーの実施率およびラグビー継続に関する調査
- ⑤ サントリーカップの開催

#### (4) RDO (地域担当者育成)

##### ＜目的＞

戦略室と連携し普及基盤を構築する。

##### ＜具体的な取り組み＞

- ① 生涯スポーツ現場や各種イベントの場を通じてラグビーの認知拡大活動
- ② 都道府県協会との連携
- ③ 文部科学省事業の推進

### **コーチ／一貫指導部門(コーチング部門)**

#### ＜活動方針と目的＞

普及育成部門との連携を促進しながら、地域・都道府県協会と情報を共有する。一貫指

導体制の確立と自ら考え成長し続けるコーチを養成することを目的とする。

<具体的な取り組み>

(1)資格認定

- ① トップチームコーチ、強化コーチ、育成コーチ、新スタートコーチ養成講習会の開催
- ② 女子指導者養成支援

(2)CPD

- ① トップチームコーチ会議の開催
- ② 強化コーチ・育成コーチ・新スタートコーチブラッシュアップ(資格更新)研修会の開催
- ⑤ 三地域都道府県委員長会議

(3)エドゥケーター養成・研修

- ① IRB トレーナー・エドゥケーター養成講習会の開催
- ② IRB エドゥケーター研修会の開催
- ③ リソースコーチ研修会の開催
- ④ ユースコーチ研修会の支援

(4)一貫指導コンテンツの充実と発信

- ① 各種講習会へのコーチ派遣
- ② 一貫指導コンテンツ更新
- ③ ポーツ指導における暴力根絶の周知徹底

(5)コーチング研究

- ① IRB 会議への参加
- ② JOC、JISS、日体協会議への参加
- ③ 指導教材の開発
- ④ 講習会用マニュアルの作成

(6)指導者情報管理・運営

- ① 有資格者登録管理システムの管理
- ② コーチネット サービス

## アジアンスクラムプロジェクト部門

<活動方針と目的>

JICA との連携を強化すると共に、アジアにおけるラグビーの普及発展における JRFU プレゼンスを増大させる。

<具体的な取り組み>

(1)JICA-JRFU スクラムプロジェクト

- ① 青年海外協力隊派遣員の選出
- ② シニア海外ボランティアの選出

(2)ARFU との連携

- ① IRB スーパーウィークの開催
- ② IRB レベル3コーチングコースの開催
- ③ コーチ・レフリー等に関するカンファレンスの支援
- ④ その他 ARFU・IRB との連携業務

(3)普及支援活動

- ① アジアン・ジャパニーズとの連携
- ② コーチ派遣
- ③ レフリー派遣
- ④ 科学情報の提供

## ⑤ 用具支援

### 情報科学部門

#### <活動方針と目的>

ラグビーワールドカップ 2015/2019 を射程に男女 15 人制日本ラグビーの戦術・技術分析および 2016/2020 五輪を射程に男女7人制の戦術・技術分析を行う。更にメンタル及び創造力育成に向けたプログラム開発およびフィジカル精査にも重点を置き、エビデンス情報を国際論文誌へ投稿し実践研究の展開を図る。

#### <具体的な取り組み>

- ① 2015/2019(15 人制)、2016/2020(7 人制) 技術・戦術展望
- ② 異競技との連携構築
- ③ 情報支援:情報科学・組織経営情報ニュース
- ④ ARFU 連携組織との実践関係構築:JISS,JOC 等

## 10. 審判委員会

### レフリー部門

“底辺拡大”と共に、“トップレフリー、女子レフリー及び国際レフリーの育成”を継続して推進する。

#### 本年度の目標

- (1) レフリーの認識度を高める。  
レフリーを目指す人が一人でも増えるように積極的なPR活動を推進して行く。
- (2) レフリーの普及・育成  
IRBトレーニングプログラムに基づき、MO(マッチオフィシャル)レベル1, 2コース及びCMO(マッチオフィシャルコーチ)レベル1, 2コースを展開して、レフリーの早期育成を推進する。
- (3) レフリーコーチの育成  
レフリーレベルに合わせたレフリーコーチの指導・育成を強化する。
- (4) 情報の伝達  
マニュアル・研修会教材の整備を図り、競技規則やルーリングに関する情報伝達を早めていく。

#### 本年度の活動

- ① パネルレフリー(IRB セブンズパネル・ARFU パネル・A・A1・AR)研修活動
- ② 海外交流(派遣・受け入れ)
- ③ トップレフリー研修(東京・長野・北海道他)
- ④ 代表チームサポート(合宿派遣等)
- ⑤ 三地域レフリー指導
- ⑥ レフリーコーチ・評価研修活動
- ⑦ レフリーパフォーマンスレビュー、アポイントメント、ランキング
- ⑧ ルール伝達講習会等

### ルール部門

- ① IRB2014 年度ルールの迅速な解釈と対応。
- ② ルールの在り様についての議論と IRB への提起を図る。
- ③ リーリング・レフリングのレフリー間、地域差、時間差ギャップ解消を図る。
- ④ 安全性を十分に考慮したルールの啓蒙活動を行う。

## 11. 高校委員会

### 1. 大会関連

- (1) 第 15 回全国高校選抜ラグビー大会  
平成26年3月30日(日)～4月7日(月) 埼玉県熊谷市:熊谷ラグビー場
- (2) サニックスワールドラグビークース交流大会 2014



- 平成26年4月28日(月)～5月5日(月) 福岡県宗像市:グローバルアリーナ
- (3) 第1回全国高校7人制ラグビーフットボール大会  
平成26年7月18日(金)～21日(月) 長野県上田市:菅平高原サニアパーク
  - (4) 第10回全国高等学校合同チームラグビー大会  
平成26年7月31日(木)～8月3日(日) 野県上田市:菅平高原サニアパーク
  - (5) 第68回国民体育大会  
長崎県長崎市:かきどまり陸上競技場・運動広場 平成26年10月17日(金)～21日(火)
  - (6) 第94回全国高校ラグビー大会  
平成26年12月27日(土)～平成27年1月7日(水) 大阪:近鉄花園ラグビー場
  - (7) 第45回全国高専大会  
平成27年1月 兵庫県で開催
  - (8) 第7回U18合同チーム東西対抗  
平成27年1月7日(水) 大阪:近鉄花園ラグビー場

## 2.強化指導

- (1) 高校日本代表選手の選抜・遠征
- (2) U17 ブロックライアウト 全国9ブロックで開催
- (3) TIDユースキャンプ【高校代表候補合宿】 平成26年6月26日(木)～30日(月)
- (4) TIDユースキャンプ【U17 日本代表候補合宿】 平成26年8月4日(月)～8月7日(木)  
\*U17 日本代表は8/23～の日中韓ジュニア交流競技大会に出場

## 3.普及指導

- (1) 普及指導講習会 ブロックごとの開催
- (2) スキルアップキャンプ 平成26年8月3日(日)～8月6日(水) 長野県上田市:菅平高原サニアパーク

## 4.指導者研修

- (1) NZ ラグビー研修 平成26年7月23日(水)～30日(水)
- (2) 第39回高等学校指導者研修会 平成27年1月9日(金)～11日(日) 東京  
全国9ブロックから2名の参加、研究発表と講演、大学選手権決勝の観戦

## 5.高校海外交流

- (1) 高校日本代表海外遠征 平成27年3月
- (2) 第22回日韓中ジュニア交流競技大会 平成26年8月23日(土)～28日(木) 岩手県  
試合日は24日・26日・27日予定

## 6.高校ルール検討委員会

安全を最優先にルールの検証を行う。

## 7.安全対策

重傷事故の撲滅。

## 8.女子ラグビー

- (1) 第3回全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会 平成26年4月4日(金)～5日(土)  
埼玉県熊谷市:熊谷ラグビー場
- (2) 第4回全国高等学校女子7人制ラグビー大会 平成26年7月31日(木)～8月3日(日)  
長野県:上田市菅平高原サニアパーク
- (3) U18花園女子セブンズ 平成26年12月27日(土)

## 9.その他

高校部員登録人数を3万人台に回復するように普及活動を推進する。  
2019年ワールドカップに向けたユース強化。  
セブンズ強化。  
高校女子ラグビーの普及と強化。

## 12. 安全対策委員会

1. 「重症事故の撲滅」と「安全なラグビーの普及・徹底」を掲げ、安全対策の指導を行う。
2. 発生事故に対する調査・分析・研究を行う。
3. チーム責任者等に『重症事故撲滅対策』の意識付けを行い、特に脳振盪報告書ならびに復帰報告書に関して、提出率を上げるための施策を立案、実施する。
4. 「安全推進講習会」の開催。
  - ① 安全推進講習マニュアル DVD の作成と管理
  - ② 安全推進講習会講師としてのトレーナーの育成
  - ③ 安全推進講習会医務関連講師の育成
5. チーム登録資格要件の追加など、速やかに具体的施策を実施する。
6. 重傷事故分析班の活動を更に推進する。
7. 普及・啓発活動  
外傷・傷害の撲滅を目指し啓発活動の継続的实施。
8. 調査・検討  
IRB 重症報告の基準に従い重症事故データの継続的集計・分析。
9. 研修会開催
  - ① スキルアップ研修会
  - ② 各都道府県安全対策研修会
10. セーフティ・アシスタント管理
  - ① セーフティ・アシスタント制度の円滑な運営を図る
  - ② セーフティ・アシスタント講習会の内容吟味
  - ③ IRB メディカルコースレベル1との連携
11. 連携  
競技力向上委員会、審判委員会、中学・高校委員会、女子委員会との連携を一層強化し、外傷・障害の減少を図る。

## 13. メディカル委員会

### 1. メディカル部門

#### <活動方針と目的>

三地域協会および都道府県医務委員会間の整合性をとりながら広範な医学的支援を行う。

- ① 三地域連絡協議会の開催
- ② 日本協会主催試合医務担当
- ③ 日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征帯同ドクター派遣)
- ④ トップリーグメディカルコントロール部会担当
- ⑤ マッチドクター(チームドクター含む)の養成
- ⑥ ラグビーフォーラムの開催
- ⑦ AIRへの協力
- ⑧ JOC、体協、JISS との連携強化および他必要な事業
- ⑨ 女子委員会への医学的支援
- ⑩ ラグビーワールドカップ 2019 医療従事者ネットワーク会議への協力

#### <具体的な取り組み>

- ① 委員会・医事担当部門会議・三地域連絡協議会
- ② 医務担当・日本協会主催試合(主管協会と連携)
- ③ 日本代表チームメディカル部門担当(含む海外遠征)
- ④ ラグビードクターフォーラムの開催
- ⑤ IRBメディカルカンファレンスへの派遣  
(IRBマッチデイドクター資格の取得推進)

### 2. トレーナー部門

#### <活動方針と目的>

トレーナー部門の役割の明確化と2016リオ/2019RWCに向けた傷害予防、パフォーマンス発揮を支援する環境整備、立案、組織横断的協同事業の提案、実施、そして人材の育成。

- ① 人材育成事業(ラグビートレーナー育成)→・トレーナーセミナー/研修会(関東、関西、九州)開催・上級トレーナー養成

#### プログラム実施

- ② コーチ部門、ハイパフォーマンス、安全対策委員会との連携
- ③ 代表委員会 およびTLとの積極的連携
- ④ 女子ラグビー環境へのトレーナー的支援
- ⑤ 教育・啓発関連資料、出版物の作成、発信それに伴う情報収集。

#### <具体的な取り組み>

- ① トレーナーセミナー/研修会(関東地区、関西地区、九州地区)を開催する。
- ② 上級トレーナーの養成プログラムを実施する。
- ③ ホームページおよび関連機関誌を通じてコンディショニング(傷害予防・パフォーマンス発揮)情報を発信する。
- ④ 日本代表チームおよび代表事業、大学、高校のトレーナー環境の整備・支援する。
- ⑤ 教育・啓発関連資料を作成、発信する。
- ⑥ 2019RWC 組織委員会との情報共有

## 14. 女子委員会

#### <活動方針と目的>

女子ラグビーの健全な普及・発展及びプレーヤーの交流を目的とし、各カテゴリーの大会整備・運営、オリンピックやワールドカップを目指すプレーヤーの全国レベルでの育成の場を設ける。

女子ラグビー普及・発展、競技力向上のための以下の事業を展開する。

- ① KOBELCO CUP 2014 第4回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会  
期日 8月1日(金)～4日(月)  
会場 菅平高原  
概要 全国の女子高校生を経験者グループと初心者グループに分け、講習会・試合を行う
- ② 太陽生命カップ 2014 第5回全国中学生ラグビーフットボール大会  
女子7人制エキシビジョンマッチ  
期日 9月13日(土)～15日(月)  
会場 ケーズデンキスタジアム水戸/ツインフィールド  
概要 全国から選抜された女子中学生選手たちによる7人制ラグビー
- ③ 第26回女子ラグビー交流大会  
期日 11月23日(日)  
会場 江戸川区陸上競技場  
概要 全国の女子選手との交流を目的として開催
- ④ 第93回全国高等学校ラグビーフットボール大会 U18 花園女子セブンズ  
期日 12月27日(土)  
会場 花園ラグビー場  
概要 全国を東西に分け、各地域で選抜された選手による7人制の試合
- ⑤ Japan Women's Sevens 2015  
期日 2015年3月予定  
会場 瑞穂講演ラグビー場  
概要 全国の女子チームが参加する7人制大会
- ⑥ 女子三地域対抗試合  
期日 12～1月  
会場 未定  
概要 三地域より選抜された代表選手による15人制の地域対抗試合
- ⑦ 三地域助成金事業  
トライアウトなど年間を通じた女子ラグビー普及事業を行う

## 15. アンチ・ドーピング委員会

<具体的な取り組み>

### I.ドーピング検査

- (1) (公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)および IRB の国内の競技会検査(トップリーグ、3地域大学リーグ、全国大学選手権大会、日本選手権大会、国内開催国際大会)に協力して実施する。検査費用は toto 助成により実施する。検査の調整監視役としての NF-R の派遣を拡充する。
- (2) 7人制ラグビーおよび女子ラグビーにおいてドーピング検査の導入を検討する。
- (3) JADA および IRB の居場所情報管理の対応についての指導助言を行う。
- (4) 治療目的使用に係る除外措置(TUE)申請手続きの指導助言を行う。

### 2.ドーピング防止教育啓発活動

- (1) JADA のドーピング防止教育啓発活動と連携して実施する。
- (2) 15人制日本代表、7人制日本代表、女子日本代表に対して、チームDrと連携しながら、ドーピング防止教育やドーピング防止講習会を実施する。
- (3) 各日本代表、トップリーグ各チーム、日本選手権出場チーム、全国大学選手権出場校、および3地域大学リーグ上位校にドーピング防止関係資料を送付し、情報提供する。
- (4) トップリーグや3地域大学リーグ上位校に対してドーピング防止講習会を実施する。とくに、大学各チームにおける講習会を JADA と連携して重点的に実施する。
- (5) トップリーグの各チームDrおよびトレーナーにドーピング防止の情報を提供する。
- (6) ジュニア世代(中学生、高校生)に対してアウトリーチプログラム(全国高校ラグビー大会、全国高等学校選抜大会、太陽生命カップ)を JADA と連携して実施する。
- (7) ラグビー関係者からの禁止物質に関する問い合わせに対応する。
- (8) ドーピング防止啓発のためのアプリケーション開発を検討する。

## 16. 総合戦略室

JRFU 戦略計画に関して以下の業務を行う。

- I .2019 年以降を見据えた戦略計画のレビューと修正・追加
2. RWC2019 でレガシーを残すための「レガシープラン」の策定と RWC2019 組織委員会との連携
3. 上記戦略計画等の全国への周知徹底
4. 上記戦略計画等のモニタリングとフィードバック
5. 各地域の取組事例の収集と全国へのフィードバック
6. 戦略計画に係る各種調査分析業務
7. 競技者登録システムを中心としたデータベースシステムの構築と活用
8. その他、上記戦略計画等の実施に伴う総合的な業務

## 関東ラグビーフットボール協会

### メディカル委員会

1. 医務委員長会議の開催(9月、1月)
2. メディカル委員会総会の開催(9月)
3. 日本代表、関東代表、学生代表等の遠征への医務協力
4. 日本協会メディカル委員会、メディカル部門への参加
5. 国際試合を含む日本協会主催試合の医務協力
6. 安全対策委員会、普及育成・競技力向上委員会、審判委員会等と連携し、安全対策の推進に努める

### レフリー委員会

1. 本年度の目標
  - (1) 日本協会と連携しレフリーのスキルアップとレフリーコーチの標準化
  - (2) 女子レフリーの発掘と育成
  - (3) 関東協会所属レフリーの発掘・育成と支援(海外派遣含む)
  - (4) 各支部におけるC 級レフリーの発掘及びレフリーの育成と指導及び支援の充実
  - (5) 各支部におけるレフリーコーチの育成
2. 会議関係

- (1) 定例会議(毎月1回)
  - (2) 委員長会議(3月)
  - (3) チームコーチ&レフリー合同会議(春季、秋季)
  - (4) アポイント部会(随時)
  - (5) レフリーコーチ部会(年2回)
  - (6) テクニカル部会(年2回)
3. 研修会・講習会関係
- (1) レフリー研修会(春季4月～7月、秋季9月～10月、冬季3月)
  - (2) レフリーコーチ研修会(春季5月、夏季7月、秋季9月、冬季3月)
  - (3) B級レフリー認定講習会 8月8日(金)～10日(日) 菅平高原
  - (4) B級レフリーブラッシュアップ研修会 8月22日(金)～24日(日) 菅平高原
  - (5) 関東協会管轄レフリー研修会への講師派遣
    - 関東高校大会レフリー研修会(6月6日(金)～8日(日)・山梨県)
    - 北関東4県合同レフリー研修会(8月中旬・菅平高原)
    - 東北高校体育大会レフリー研修会(6月13日(金)～15日(日))
    - 東北社会人レフリー研修会(7月上旬・岩手県八幡平)
    - 北海道レフリー研修会(7月中旬)
    - 女子レフリー研修(7月下旬、8月中旬、9月上旬)
    - 東北高校新人大会レフリー研修会(平成27年2月上旬)
    - 関東高校新人大会レフリー研修会(平成27年2月中旬)
4. 日本協会主催各種研修会
- (1) 全国高校7人制大会(7月19日(土)～21日(月) 菅平高原)
  - (2) トップレフリー研修会(未定・菅平高原)
  - (3) 三地域トップレフリー研修会(8月15日(金)～17日(日)・菅平高原)
  - (4) 全国高校大会レフリー研修会(12月下旬・花園ラグビー場)
  - (5) 全国高校大会・全国中学生選抜大会女子レフリー研修会(12月下旬・花園ラグビー場)
  - (6) 全国高校選抜大会レフリー研修会(平成26年3月下旬・熊谷ラグビー場)
  - (7) 全国安全対策講習会(平成26年3月下旬)
5. レフリー派遣関係
- (1) 春季オープン戦レフリー派遣(中学、高校、大学、クラブ、社会人等)
  - (2) 春季公式戦レフリー派遣
    - (全国高校選抜、YC&ACセブンス、高校・大学セブンス、ジャパンセブンス、大学交流戦、都道府県対抗戦、メディカルセブンス等)
  - (3) 関東協会主催公式戦レフリー派遣
    - 各種大会(中学、高校、大学、クラブ、社会人等)
  - (4) NZウェリントン派遣レフリー(6月上旬) NZウェリントン受入れレフリー(10月上旬)
  - (5) 全関東代表滞同レフリー派遣(4月下旬)

## 安全対策委員会

1. 活動目標
  - (1) 重症事故の予防に関する啓発活動を通じ重症事故撲滅に努める。
  - (2) プレーヤーの安全に関わる事項を検討し、その方策を確立する。
2. 具体的事業
  - (1) 全国安全推進講習 関東協会ブロック伝達講習会の実施(日本協会主催)2015.1.18於青山高校予定
  - (2) 各県における安全対策講習会及びチーム登録の円滑な実施を図るとともに、重症事故予防に関する啓発に努める。  
(日本協会安全対策委員会との連携)
  - (3) 熱中症予防についての啓発活動の継続
  - (4) 菅平高原等夏季合宿地における安全対策啓発活動  
(高校生対象のスキルアップ講習会8/2～8/5・ポスター配布)
  - (5) 関東協会管下における重症事故についての動向調査
  - (6) 安全対策関連の通達・申し合わせ事項の整理及び周知徹底
  - (7) 脳震盪のレギュレーション変更の周知徹底とその円滑な運用に努める。
  - (8) メディカルサポーターからセイフティアシスタントへの名称変更と運用面の細部変更の周知徹底を図る。
3. 委員会の課題

- (1) 運搬法・救急救命法講習会の実施
- (2) 各県で実施されている安全対策講習会の実施状況、内容の調査
- (3) 他の委員会との連携

## コーチ委員会

### 1. 指導者養成事業

- (1) ブラッシュアップ研修会(強化コーチ・育成コーチ・新スタートコーチ)
- (2) 強化コーチ養成講習会 日時:平成26年7月 場所:代々木オリンピックセンター
- (3) 育成コーチ養成講習会 日本協会主管:埼玉 県協会主管:
- (4) 新スタートコーチ養成講習会 随時開催予定
- (5) コーチトレーナー講習会 随時開催予定

### 2. 地域推進事業

- (1) タックルプロジェクトの巡回指導及びインストラクターの講習・育成
- (2) コーチ委員長会議開催(随時開催予定)

### 3. コーチ派遣事業

## 普及育成委員会

### 《中学校・中学生RS 部門》

#### 1. 大会の主催

- (1)「第65 回関東中学校ラグビーフットボール大会」= 中学校部門=  
6月7日、8日、15日 熊谷ラグビー場他
- (2)「第8 回東日本U15 中学生ラグビークラブ大会 ～2014 太陽生命カップ・第5 回全国中学生ラグビー大会東日本地区  
RS 部門予選～」= 中学生RS 部門=  
6月14日、15日 千葉県習志野自衛隊
- (3)「第16 回東日本ジュニアラグビー菅平ジャンボリー」= 中学生RS・中学校部門合同=  
7月26日、27日 長野県菅平サニアパーク他
- (4)「第20 回全国ジュニアラグビーフットボール大会関東地区中学校予選」= 中学校部門=
- (5)「第35 回東北中学生ラグビーフットボール交流大会」= 中学校・中学生RS 部門合同=  
8月9日、10日 山形県天童市運動公園
- (6)「太陽生命カップ・第5回全国中学生ラグビー大会・東北北海道地区中学校予選」= 中学校部門=  
8月30日、31日 秋田県秋田市
- (7)「第21 回関東甲信越ジュニアラグビー交流大会」= 中学生RS 部門=  
9月上旬 群馬県高崎市豊岡ラグビー場
- (8)「第34 回東日本中学生ラグビーフットボール大会」  
〈中学校の部〉 = 中学校部門=  
「第34 回東日本中学校ラグビーフットボール大会」  
11月9日、16日、12月21日、23日(又は12月22、24日)秩父宮、熊谷他  
〈ラグビースクール(JRC)の部〉 = 中学生RS 部門=  
「第34 回東日本中学生ラグビーフットボール大会= ラグビースクールの部=」  
11月8日、9日 千葉県スポーツセンター他予定
- (9)「第12回東日本U15中学生ラグビーフットボール選抜大会」= 中学校・中学生RS 部門合同=  
2015年3月14日、15日 茨城県水戸市堀原運動公園、ツインフィールド

#### 2. 指導者講習会

「東日本地域ジュニアラグビー指導者講習会」= 中学校・中学生RS 部門合同= 時期・場所未定

### 《タグラグビー部門》

#### I.活動

- (1) 小中高連携授業の実施と指導。
- (2) 教員へのタグラグビーレフリー指導。(ライセンス制の導入)
- (3) ラグビースクールでの、タグラグビーの活用を指導の徹底。-

#### 2.大会、講習会

- (1) サントリーカップ・全国大会への参加。
- (2) 東北震災被災地県小学生との交流大会の実施。
- (3) 教員対象のレフリー講習会の実施。

### 《ミニラグビー部門》

## I.活動

- (1) ミニラグビー・インストラクターの研修会の実施。
- (2) 関東協会主導のレフリーチームの育成。

### 2.大会、講習会

- (1) 既存の都道府県の交流大会を支援する。
- (2) 北海道、東北地区、関東地区で開催されていた既存の大会支援。
- (3) 北海道、東北、関東地区での指導者講習会の支援。

## セレクションコミッティ・強化委員会

1. 関東代表NZ 遠征(4月下旬～5月上旬予定) 4試合(NZU含む)選手30名を予定
2. 春季大学交流戦の視察
3. 関東大学オールスターゲームへの参加(メンバー選考等)
4. 秋季公式戦(トップリーグ、トップイースト・大学対抗戦、大学リーグ戦等)の視察
5. 各セブンズ大会の視察
6. セレコン委員会の開催(適宜)

## 社会人委員会

1. 各種大会への実施、参加
  - (1) 第55回YCACセブンズ 4月6日(日):YC&AC
  - (2) 第51回東日本都道府県対抗大会開催 7月19日(土)・21日(月祝):岩手県八幡平市
  - (3) 第69回国民体育大会 10月17日(金)～18日(土):長崎県長崎市
  - (4) トップリーグ・トップイーストリーグDiv1 Div2・関東社会人リーグ・トップチャレンジリーグ

## クラブ委員会

1. 第22回全国クラブ大会の主管  
2014年12月～2015年2月(秩父宮・熊谷・花園・宝ヶ池・福岡等) \*予定
2. 第11回東日本トップクラブリーグの主催  
9月～12月
3. 第24回東日本クラブ選手権大会の主催  
9月～11月、首都圏、東北、甲信越、北海道、その他
4. 第33回ラグビーフェスタ2014 イン・スガダイラの主催  
7月12日～13日 菅平高原各グラウンド、サニアパーク
5. 第31回東北クラブ選手権大会の主催  
10月～11月 東北各県持ち回り開催
6. 第22回ラグビーフェスタ2014・イン・ハチマンタイの主催  
7月12日～13日 岩手県八幡平市
7. 第5回東日本クラブセブンズ2014の主催  
6月29日予定 熊谷
8. サンケイスポーツ杯第21回関東学生クラブ選手権大会の主催  
9月～12月 サンケイスポーツランド、駒沢補助、熊谷ラグビー場、江戸川臨海、その他
9. 第13回東西学生クラブ対抗試合へ関東代表を派遣  
12月21日ないし23日 \*予定 熊谷予定
10. 学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル2014・イン・スガダイラの主管  
9月7日～9月8日 菅平高原サニアパーク
11. 東北クラブ委員長会議の開催  
10月予定 \*東北クラブ選手権大会にあわせて開催。
12. 関東クラブ委員長会議の開催
  - ① 期日/ 2015年2月を予定
13. 東日本各地で「クラブカンファレンス」を実施

## 女子委員会

1. ユースセレクション  
4月中旬 辰巳の森ラグビー場
2. 第64回関東中学校ラグビーフットボール大会 女子7人制エキシビジョンマッチ

- 6 月中旬 熊谷ラグビー場A グランド
- 3. 安全対策講習会
  - 7 月下旬 場所未定
- 4. ユース選手・高校生女子15 人制合宿
  - ユース:8 月17 日(日)～ 20 日(水)・高校生:21 日(木)～ 24 日(日) 菅平高原
- 5. 第25 回関東女子ラグビーフットボール大会
  - 9 月下旬～ 10 月下旬 熊谷ラグビー場A・B グランド
- 6. 第8 回ガールズラグビーフェスティバル
  - 11 月下旬 熊谷ラグビー場B・C グランド
- 7. 女子三地域代表対抗戦
  - 12 月～ 1 月
- 8. 第6 回関東地区SEVEN' S IN KUMAGAYA
  - 3 月上旬 熊谷ラグビー場B・C グランド

## 大学委員会

- 1. 第15 回東日本大学セブンズ実施
- 2. 第3 回関東大学春季大会実施
- 3. 第2 回関東大学オールスターゲーム(対抗戦選抜対リーグ戦選抜)実施
- 4. 各リーグ公式戦実施
- 5. 第36 回ジュニア選手権実施
- 6. U20 強化対策実施
- 7. 委員会の開催・監督会議の開催・日本協会大学部門会との連携

## 高校委員会

- 1. 各種大会、予選会実施、全国大会参加
  - (1) 関東高校代表対九州高校代表戦 4 月12 日 東京都:江戸川区陸上競技場
  - (2) 地区大会
    - 第41 回北海道高校大会 7 月25 ～30 日 江別市(野幌)札幌市(月寒)
    - 第65 回東北高校大会 6 月19 ～22 日 山形県:天童市(山形県総合公園)
    - 第62 回関東高校大会 6 月6 ～8 日 山梨県:吉田市(富士北麓公園)
    - 第36 回北信越高校大会 6 月21・22 日 石川県:石川県ラグビー場
  - (3) U16・17 ブロックトレセン・講習会
    - 北海道ブロック 8 月9 ～10 日・6 月14 ～16 日 北見市(未定)帯広市:(帯広の森)
    - 東北ブロック 7 月4 ～6 日(同時開催) 青森県:南津軽郡(あじら公園)
    - 関東ブロック 6 月27 ～29 日(同時日程) 東京都:(辰巳の森海浜公園):未定
    - 北信越ブロック 6 月27 ～29 日 長野県:上田市菅平(同時開催)
  - (4) ブロック国体・第69 回国民体育大会予選会
    - 北海道大会 6 月17 ～18 日 帯広市:帯広の森球戯場
    - 東北大会 8 月22 ～24 日 福島県:信夫ヶ丘総合運動公園
    - 関東大会 8 月29 ～31 日 栃木県
    - 北信越大会 8 月17・23、24 日 石川県:石川県ラグビー場
  - (5) 第69 回国民体育大会参加 10 月17 ～21 日 長崎県:かきどまり陸上競技場
  - (6) 第94 回全国高校大会参加 12 月27 日～1 月7 日 花園ラグビー場
  - (7) 16 回全国高校選抜大会地区予選会
    - 北海道新人大会 平成26 年10 月22 ～25 日 函館市
    - 東北新人大会 平成27 年2 月4 ～7 日 福島県:いわき市(21 世紀の森)
    - 関東新人大会 平成27 年2 月14・15・21・22 日 千葉県:市原市・茨城県:水戸市
    - 北信越新人大会 平成27 年3 月7・8・14・15 日 新潟県:新潟市(鳥屋野球技場)
  - (8) 合同チーム大会
    - 北海道大会 平成26 年6 月14・15 日 帯広市(帯広の森)
    - 東北大会 平成27 年2 月6・7 日 福島県:いわき市(明星大学)
    - 関東大会 平成27 年3 月14・15 日 神奈川県相模原市(麻溝運動公園)
    - 北信越大会 平成26 年6 月21・22 日 大阪府(大阪体育大学グラウンド)



- (9) 関東都県対抗戦 平成27年2月15・22日 千葉県:市原市・茨城県:水戸市
- (10) 第16回全国高校選抜大会参加 埼玉県:熊谷ラグビー場
- (11) トライアウト(関東・東北・北海道) 27年3月21～23日 場所(未定)
- 2. 普及指導講習会の開催→ブロック別少人数制大会
- 3. 第39回高校ラグビー指導者研修会
- 4. 第16回全国高校選抜大会の主管と準備会議の実施
- 5. 関東高校代表チームの編成と強化遠征試合→ユース代表選考活動
- 6. 高等専門学校チームとの普及・強化に向けた事業→各種大会への参加、新規大会の企画

### ツアー委員会

- 1. 海外遠征申請手続 日本協会へ上申手続等
- 2. 関東代表NZ 遠征実施(4月下旬～5月上旬にて、NZU 含む4試合を予定)
- 3. 来日外国チーム許可申請手続
- 4. 国際大会への対応

### 市町村協会担当

- 1. 都内各市区協会の状況把握
- 2. 連絡先の整備
- 3. 都協会情報の提供、市区協会情報の共有
- 4. 各市区協会代表者の意見交換会実施
- 5. 市町村協会新設の促進と日本協会「市町村協会新設補助金」の活用

### 広報委員会

- 1. 関東協会「協会年鑑2014～2015年版」の作成と配布。
- 2. 関東協会「役員名簿2014～2015年版」の作成と配布。
- 3. 平成26年度試合日程メンバー表の作成と一般頒布。
- 4. 日本協会機関誌(RUGBY FOOTBALL)に関東協会だよりを執筆掲載。
- \* 支部協会(各都道府県協会)の活動報告の充実
- 5. 日本協会、関東協会主催・主管ゲームで、各種パンフレット・出版物等の販売。
- 6. 関東協会「秋冬ポスター」「トップイーストリーグ」ポスターの作成と配布、及び一般頒布。
- 7. 関東協会ポスターを、JR 東日本首都圏管内各駅への駅貼りの実施。
- 8. 「トップリーグ」を主に各種告知活動を展開。
- 9. 小学生・中学生・教育委員会等への児童生徒の「秩父宮・国立競技場団体観戦」の案内。

### 観客動員委員会

- 1. 既存ファンのリピート率UP と新規ファン開拓
- 2. 大学ラグビーの観客動員を重点的に強化
- 3. 観客動員企画の充実化  
ポスター・プロモーションビデオ等、制作物再考  
大学サークル等の参加イベント強化  
SNS 分野・・・FB の展開により、ラグビーファンから一般ファンへの更なる拡大を目指す。
- 4. 協賛企業の継続と新規開拓

### 登録者傷害見舞金審査委員会

- 1. 各都道府県協会より報告された傷害報告、見舞金請求(診断書)に対し毎月審査委員会を実施。
- 2. 登録者傷害見舞金制度、関東協会管下分について収支明細及び見舞金支給者名簿を作成し日本協会へ報告。

### 選手資格審査委員会

- 1. 選手登録に関する審査
- 2. 選手の移籍に関する審査
- 3. 外国人選手新規登録に関する審査

### 規律委員会

- 1. 競技規則、トップリーグ表彰懲罰規程に準拠した不行跡、不規律の処置

(ただしカード累積時の運用については従前方式を継続)

2. シンビンの計数ならびに公開、イエローカード累積3枚時の処置

## 競技委員会

1. 関東協会主催試合の日程調整と決定  
各地・各地域での有料試合の調整と運営  
各セクションの大会運営実施とサポート(ミニラグビー・タグラグビー・ジュニアラグビー・高校・大学・地区対抗・高専・学生クラブ・クラブ・レディース等の公式試合)
2. 主催・主管試合への担当理事・競技委員の決定と派遣、ボール系の派遣依頼と管理
3. 競技運営向上施策  
担当職務のローテーションを実行し、Generalist とSpecialist を育成  
競技運営マニュアル改訂(IRB・JRFU 通達と競技役員提案等を反映)  
競技場での危機管理体制強化

## 総務法務委員会

1. 関東協会規約その他諸規程の整備
2. 租税公課に対する対応
3. 労務管理
4. 法令遵守(コンプライアンス)
5. 日本協会との組織統合への対応

## 関西ラグビーフットボール協会

### 各種大会

1. 関西セブンズ 2014(4/5・6 鶴見緑地)
2. 第8回 関西まつり (4/27 花園ラグビー場)
3. 第5回 関西・一宮セブンズ (5/10・11 一宮)
4. 普及育成委員会  
関西まつりミニ交流会 (4月27日 東大阪多目的球技場)  
第5回全国中学生大会スクールの部関西地区予選 (6月 大阪府)  
第35回 関西中学生大会 (7/25～7/27 岐阜県数河高原)  
第16回 関西中学生ジャンボリー大会 (7/25～7/27 岐阜県数河高原)  
第7回 関西ミニ・ジャンボリー大会 (6/28・29 淡路佐野運動公園)  
第16回 近畿スクールジュニア交流大会 (11月 兵庫県)  
第20回 全国ジュニアラグビー近畿ブロック予選 (11月 兵庫県)  
第7回 関西スクールジュニアラグビー新人交流大会 (3月 兵庫県)  
関西タグフェスティバル (5月24日 長浜ドーム)  
ラグビーマガジン Cup 関西ミニラグビー大会 2014 (10月 J-Green 堺)  
サントリーカップ全国タグブロック予選 (地区別日程)  
クリスマスカップ関西小学生タグラグビーチャンピオンシップ (12月21日 長浜ドーム)  
第2回 関西女子中学生大会 (6月 J-Green 堺)
5. 社会人委員会  
トップウェストリーグ戦 (9月～12月 花園・瑞穂他)  
トップチャレンジシリーズ (1月 花園ラグビー場)  
トップウェストリーグ 入替戦 (12月 JR西日本)  
トップウェストチャレンジマッチ (12月 JR西日本)
6. クラブ委員会  
第26回 関西クラブ大会 (9月 岡山県美作市)  
第7回 関西クラブトーナメント大会 (10～11月 近畿・東海・中国)

学生クラブ春期大会 (4月～6月 滋賀・大阪・京都・兵庫)  
第5回 関西トップクラブリーグ (9月～11月 愛知・大阪・兵庫)  
第5回 関西トップクラブリーグ入替戦 (3月 場所未定)  
近畿クラブリーグ (10月～2月 近畿2府4県)  
全国クラブ大会関西代表決定戦 (11月 場所未定)  
関西学生クラブ大会 (9月～11月 近畿2府4県)  
学生クラブ東西対抗 (12月 関東地区)  
全国クラブ大会 (12月～3月 場所未定)

#### 7. 大学委員会

関西大学リーグ (10月5日～12月6日 花園ラグビー場他)  
関西大学リーグ入替戦 (12月 鶴見緑地 他)  
第56回 関西医歯薬大学大会 (4～5月 未定)  
関西大学U20戦 (4月 各大学グラウンド)

#### 8. 高校委員会

第12回 関西高校少人数校ラグビー交流大会 (6月 大阪体育大学)

#### 9. 女子委員会

第17回 女子ラグビー関西大会 (9月～10月 瑞穂 他)  
関西女子交流大会 (9月 場所未定)  
女子大学セブンズフィオーレリーグ (10月 宝が池 他)  
関西女子7人制サーキット (12月～1月 ノエスタ 他)  
ユース三地域交流大会 (11月 J-Green 堺)

### 委員会関係

#### 医務委員会

- ① 総会 (3月頃 場所未定)
- ② 総務部会 (7・11月 関西協会)
- ③ 学術部会 (7月 関西協会)
- ④ リーグ医師派遣委員会 (7月 関西協会)
- ⑤ 2019RWC 医療従事者部門会議 (未定 関西協会)

#### レフリー委員会

- ① コーチ委員会との合同会議 (7月 大阪)
- ② 委員長会議 (6月 大阪)
- ③ 主要試合レフリー会議 (8月 大阪)
- ④ レフリーコーチ会議 (8月 大阪)
- ⑤ B級認定講習会 (5～6月 徳島・愛知)
- ⑥ Bトップ研修会 (5月 天理)
- ⑦ アシスタントレフリー研修 (12月 大阪)
- ⑧ ブラッシュアップ研修会 (7～8月 神鍋・数河)
- ⑩ 三地域トップレフリー研修会 (8月 菅平)

#### 強化・セレクション委員会

- ① 委員会 (8・2月 関西協会)
- ② 各種試合視察 (8月～2月 花園ラグビー場他)

#### コーチ委員会

- ① 総務部会 (6・1月 関西協会)
- ② トップチームコーチ会議 (7月・ホテルクライトン新大阪)
- ③ コーチ委員長会議 (未定)
- ④ 育成コーチ養成講習会 (日程、場所未定)

- ⑤ 育成コーチブラッシュアップ講習会 (ホテルクライトン新大阪)
- ⑥ 強化コーチ養成派遣 (7月 国立オリンピックセンター)

### 普及育成委員会

- ① 運営委員会 (4回 関西協会)
- ② タグ部門会議 (7回 関西協会他)
- ③ ミニ部門会議 (6回 関西協会)
- ④ ジュニア委員会 (4回 関西協会)
- ⑤ ミニ・ラグビー指導者講習会 (3月 場所未定)
- ⑥ 関西中学生大会実行委員会 (3・9月 関西協会)
- ⑦ 関西中学生大会運営委員会 (日程未定 関西協会)
- ⑧ 全国ジュニア実行委員会 (5・1月 関西協会他)
- ⑨ 全国ジュニア運営委員会 (日程未定 関西協会)
- ⑩ 四国ラグビースクール夏季研修会 (8月 場所未定)
- ⑪ 近畿ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)
- ⑫ 東海・北陸ブロック指導者研修会 (下期 場所未定)
- ⑬ 中四国ブロック指導者研修会 (9月 場所未定)

### 安全対策委員会

- ① 委員長会議 (2月 ホテルアウイーナ)
- ② 安全推進講習会 (2月 ホテルアウイーナ)
- ③ 常任委員委員会 (10・1月 関西協会)

### 社会人委員会

- ① 総会 (6月21日 ホテルクライトン江坂)
- ② 委員会 (日程未定 関西協会事務所他)

### クラブ委員会

- ① 委員会 (3回 関西協会 他)
- ② 関西クラブ大会実行委員会 (7月 関西協会)
- ③ ブロック委員長会議 (9月～ 各ブロック)

### 大学委員会

- ① 総会 (7月 場所未定)
- ② 委員会 (日程未定 関西協会)

### 高専委員会

- ① 全国高専大会実行委員会 (10・12月 神戸高専他)
- ② 代表者会議 (1/3 グリーンヒルホテル神戸)

### 高校委員会

- ① 委員会 (4・12月 場所未定)
- 主要試合スケジュール並びに放送調整会議
- 3・6月 関西協会

### 広報委員会

- ① 委員会 (7月 ・3月上旬 関西協会)
- ② 関西協会シーズン開幕記者懇談会 (8月下旬 場所未定)
- ③ 主要試合メディア協力・取材活動 (9～2月 各試合会場)
- ④ マーケティング・プロジェクトの実施 (9～2月 各試合会場)
- ⑤ スポーツカメラマン道場(仮称)の開催 (9～2月 各試合会場)
- ⑥ 委員会・事務局会議 (月例 関西協会)

### ツアー委員会

- ① 委員会 (3月上旬 関西協会)
- ② 国際試合帯同 (日程、場所未定)

## **傷害見舞金審査委員会**

(8月除く毎月第2木曜日 関西協会)

## **女子委員会**

- 各部門トライアウト (4月未定)
- 関西ユース合宿 (8月 菅平)
- 各部門会議 (日程・場所未定)

# **九州ラグビーフットボール協会**

## **各委員会関係**

### **1. レフリー委員会**

#### (1)各県委員長会議

①6月：佐賀 ②12月：福岡 ③2月：宮崎 ④副委員長会議 2回：福岡

#### (2)レフリー研修会

- ①九州地区トップレフリー研修会 平成26年 8月 (未定)
- ②九州地区レフリー研修会 平成26年 8月 (未定)
- ③九州地区B級レフリー認定講習会 平成26年 8月 (未定)
- ④三地域トップレフリー研修会 平成26年 8月 菅平

(3) 各県巡回指導研修会 平成27年 1月～3月 各県

(4) 有望レフリー発掘事業(希望する数県) 平成26年 5月～6月 各県

(5) 若手レフリー研修会講師派遣 年5回程度

(6) レフリー派遣 年間を通して 各地

(7) レフリーコーチおよび評価 年間を通して 各地

(8) コーチ・アセッサー研修会 年1回(未定) 福岡

(9) レフリー評価委員会 平成27年 2月 福岡

(10)九州アカデミー研修 年間を通して 各地

### **2. 社会人委員会**

(1)第52回九州セブンズ(木元杯全九州7人制)大会 平成26年4月12日～13日 福岡

(2)第34回九州地区国民体育大会(成年の部) 平成26年 8月22日～24日 熊本

(3)トップキュウシュウリーグ戦 平成26年 9月～11月 各地

(4)トップチャレンジ1・2 平成26年 12月～翌1月 各地

(5)トップキュウシュウリーグA・B入替戦 平成26年 12月 14日(未定)

(7)トップキュウシュウリーグ代表者会議 平成27年 2月 福岡

### **3. クラブ委員会**

(1)各県クラブ委員長会議 1回目 平成26年 6月7日 佐賀

2回目 平成26年 11月 15日 福岡

(2)第33回九州感大会 平成26年 6月7・8日 佐賀

(3)九州トップクラブリーグ 平成26年 9月～12月 各地

(4)第40回全九州クラブ・実業団大会 平成26年 11月 15・16・30日 福岡

(5)九州トップクラブリーグ入替戦(A・Bリーグ) 平成26年 12月 14日 未定

(6)第22回全国クラブ大会 平成26年 12月中旬 各地

(7)九州・関西クラブ交流会 平成27年 2月中旬 福岡

(8)総務委員会 年6回 福岡

### **4. 大学委員会**

#### (1)会議及び講習会

①大学委員長会議 第1回 平成26年 7月 福岡

第2回 平成26年 12月 福岡

- ②普及指導講習会 平成26年 3月～7月 各県
- (2)九州学生春季リーグ戦 平成26年 6月 福岡
- (3)第53回九州山口医科大学大会 平成26年 4月～5月 宮崎
- (4)第53回九州商経大学大会 平成26年 6月 大分
- (5)第64回九州地区大学大会(インカレ) 平成26年 6月 熊本
- (6)第22回九州学生リーグ戦 平成26年 9月～11月 福岡他
- (7)第14回九州地区対抗大学大会 平成26年11月15日～18日 宮崎
- (8)九州学生リーグ入替戦(Ⅰ部⇔Ⅱ部、Ⅱ部⇔Ⅲ部) 平成26年12月上旬 (未定)
- (9)九州学生リーグジュニア戦 平成26年9月～11月 福岡他
- (10)第51回全国大学選手権 平成26年11月～12月 福岡他

## 5. 高専委員会

- (1)第23回九州高専チームリーダー講習会 平成26年 3月30日～4月 1日 八代
- (2)第23回九州高専新人大会 平成26年 5月10日～11日 久留米
- (3)第51回九州地区高専大会 平成26年 11月10日～13日 長崎
- (4)九州高専委員長会議 平成26年11月14日 長崎
- (5)第45回全国高等専門学校大会 平成27年 1月 神戸

## 6. 高校委員会

- (1)交流試合 東日本高校代表 VS 九州高校代表 平成26年 4月12日 東京
- (2)サニックス2014ワールドユース交流大会 平成26年 4月28日～5月 5日 福岡
- (3)第67回全九州高等学校大会(九州高体連主催) 平成26年 6月 21日～24日 佐賀
- (4)九州高体連ラグビー専門部委員長会議 平成26年 6月 21日 佐賀
- (5)九州高校強化委員会 平成26年 6月 21日 佐賀
- (6)夏季九州高校1・2年生一次強化指導会 平成26年 7月 5日～ 7日 湯布院
- (7)U17全国高校合同チーム大会直前合宿 平成26年 7月 5日～ 7日 湯布院
- (8)第34回九州地区国民体育大会(少年の部) 平成26年 8月22日～24日 熊本
- (9)第94回全国高校選手権大会 各県予選 平成26年 10月～ 各県
- (10)第6回九州U16・U17交流大会 平成26年 12月13日～14日 福岡
- (11)サニックス2015ワールドユース交流大会 予選会 平成27年 1月2日～5日 福岡
- (12)第75回木元杯全九州高校新人大会 平成27年 2月21日～25日 宮崎
- (13)九州高校委員会及び強化委員会 平成27年 2月 21日 宮崎
- (14)3ブロック対抗戦(九州・中国・四国) 平成27年 3月6日～8日 山口
- (15)U17九州選抜候補合宿 平成27年 3月 14日～16日 湯布院
- (16)第16回九州高校10人制大会 平成27年 3月 21・22日 福岡

## 7. コーチ委員会

- (1)各県委員長会議 1回目 平成26年 7月 福岡  
2回目 平成27年 1月下旬 福岡
- (2)日本協会トップチームコーチ会議 平成26年 7月上旬(未定)
- (3)強化コーチ養成講習会 平成26年 7月 東京
- (4)九州協会トップチームコーチ会議 平成26年 7月 中旬 福岡  
兼強化コーチブラッシュアップ研修会
- (5)育成コーチ養成講習会 平成26年11月 福岡
- (6)ブラッシュアップ講習会 各県の要請により随時開催 各県
- (7)新スタートコーチ養成講習会 各県の要請により随時開催 各県
- (8)その他:コーチ委員会として必要な事業 随時実施 (未定)

## 8. 中学委員会

- (1)各県委員長会議
  - ①.第1回(中学校・ジュニア大会準備、打合せ) 平成26年 4月 5日 福岡
  - ②.第2回(中学校・ジュニア大会反省会、ブロック大会準備) 平成26年 8月 2日 鯛生
  - ③.第3回(ブロック大会反省会、全国大会強化合宿準備) 平成26年 10月 11日 熊本
- (2)九州 Jr インストラクター会議(講習会等の取組み) 平成26年 10月 11日～13日 熊本

- (3)ジュニアラグビー指導者講習会 都度実施 各 県
- (4)第36回 新島杯 九州ジュニアラグビー大会 平成26年 8月 1日～3日 鯛 生
- (5)第27回 新島旗 九州中学校大会 平成26年 8月 3日～5日 鯛 生
- (6)第15回 ジュニアラグビー九州ブロック大会 平成26年 10月 11日～13日 熊 本
- (7)第20回全国ジュニアラグビー競技大会 平成26年 12月29日～31日 花 園  
ブロック大会優勝及び準優勝の県代表が出場
- (8)第16回九州ジュニアラグビー福岡ジャンボリー 平成27年 1月 24日～25日 福 岡
- (9)第16回九州ジュニアラグビー鹿児島ジャンボリー 平成27年 2月 21日～23日 鹿児島

## 9. 普及育成委員会

### (1)会議・研修会

- ①普及育成担当者研修会委員会 平成26年 5月 17・18日 福 岡
- ②タグ部門長会議(兼サントリーカップ打合せ) 平成26年 6月 21・22日 佐 賀
- ③タグラグビーエドゥケーター講習会 平成26年 8月 2・3日 大 分
- ④九州MRR認定講習会 平成26年 8月 22～24日 熊 本
- ⑤各県委員長会議 平成27年 1月 17・18日 福 岡
- ⑥ラグビースクールプロモーション講習会 平成27年 2月 14・15日 福 岡

### (2)ミニラグビー

- ①第41回 九州少年ラグビー交歓会 平成26年 8月 22～24日 熊 本
- ②第16回 西九州交流大会 平成26年 9月 21日 福 岡
- ③第16回 東九州交流大会 平成26年 11月 2日 熊 本
- ④第 7回 沖縄県ミニラグビー交流大会 平成26年 11月 9日 沖 縄
- ⑤第 3回 トライドリームカップ 平成26年 11月 22～24日 福 岡
- ⑥第15回 南九州交流大会 平成26年 12月 14日 鹿児島

### (3)タグラグビー

#### ①タグフェスタ

- 佐賀 平成26年 5月 13日 佐 賀
- 熊本 平成26年 7月 21日 熊 本
- 福岡(WITH アビスパ福岡) 平成26年 10月上旬 福 岡
- 鹿児島 平成26年 10月 13日 鹿児島
- 九州 平成26年 10月 19日 福 岡
- 大分 平成26年 10月 25日 大 分
- 沖縄(第17回スポレク) 平成26年 10月 26日 沖 縄
- 長崎(大村) 平成26年 11月中旬 長 崎
- 宮崎 平成27年 2月 22日 宮 崎
- 西部ガスタグフェスタ 平成27年 3月 22日 福 岡

#### ②タグラグビーティーチャー研修会

- 福岡 (未 定) 福 岡
- 宮崎 平成26年 6月 21日 宮 崎
- 沖縄 平成26年 7月(予定) 沖 縄
- 熊本 平成26年 7月 21日 熊 本
- 大分 平成26年 8月 1日 大 分
- 鹿児島 平成26年 8月 8日 鹿児島
- 長崎 平成26年 8月上旬(予定) 長 崎
- 佐賀 平成26年 8月 19日 佐 賀

#### ③第9回 九州女子タグラグビー大会 平成26年 12月 7日 長 崎

#### ④第11回 サントリーカップ全国大会予選

- 佐賀県 平成26年 11月 24日 佐 賀
- 大分県 平成26年 11月 24日 大 分
- 熊本県 平成26年 11月 25日 熊 本
- 宮崎県 平成26年 11月 25日 宮 崎
- 長崎県 平成26年 12月 2日 長 崎
- 福岡県 平成26年 12月 8日 福 岡
- 鹿児島県 平成26年 12月 8日 鹿児島

沖縄ブロック 平成27年 1月12・13日 沖縄  
九州ブロック 平成27年 1月27日 佐賀

## **10. 安全対策委員会**

- (1)平成26年度 安全推進講習会 平成26年 4月～5月 各 県  
〃 九州協会主催 平成26年 5月 福岡
- (2)平成26年度 安全推進キャンペーン 平成26年 7月～8月 各 地
- (3)平成26年度 安全推進伝達講習会 平成27年 1月 福岡
- (4)九州安全対策委員長会議 平成27年 3月 福岡
- (5)九州メディカル・安全対策委員会合同総会 平成27年 3月 福岡

## **11. 強化・セレコン委員会**

- (1)7人制合同練習指導 平成26年 8月 長崎
- (2)トップリーグ、トップキュウシュウリーグA等視察 平成26年 9月～12月 各 地
- (3)長崎国体視察 平成26年 10月 長崎
- (4)強化・セレコン委員会(九州代表セレクト会議) 平成27年 2月 福岡
- (5)三地域強化委員長会議 平成27年 3月 東京

## **12. 総務委員会**

- (1)会員名簿の作成 平成26年 8月
- (2)主要スケジュール、メンバー表の作成、配布 (都度配布)
- (3)九州及び各県公式記録の編集、発行 平成26年10月
- (4)各新聞における関係記事のスクラップ (都度収集)

## **13. 広報委員会**

- (1)日本協会機関誌「協会だより」への出稿記事作成・調整 年間5回
- (2)九州協会ホームページの維持・更新 随時対応
- (3)トップリーグ共同記者会見の開催 平成26年 8月
- (4)広報委員会会議 平成26年 8月
- (5)各メディアとの意見交換会(新聞、TV) 平成26年 10月下旬
- (6)各メディアへの情報発信、情報交換 随時対応

## **14. メディカル委員会**

- (1)公式戦 マッチドクター派遣 平成26年 4月～27年 3月 各 県
- (2)トップリーグ・メディカルコントロール 14試合 随時対応 各 県
- (3)九州メディカル委員会総務委員会 平成26年 9月 福岡
- (4)九州メディカル・安全対策委員会合同総会 平成27年 3月 福岡  
総務委員会
- (5)日本代表各チーム帯同医師派遣協力 遠征・合宿時対応

## **15. 女子委員会**

- (1)女子委員会 1回目 平成26年 4月 福岡  
2回目 平成27年 1月 福岡
- (2)U15 ユーストライアウト 平成26年 4月 (未定)
- (3)U18 合同練習会合宿 平成26年 4月 福岡
- (4)木元杯九州セブンズ女子の部 平成26年 4月13日 福岡
- (5)サニックスワールドユース女子セブンズ 平成26年 4月27日～29日 福岡
- (6)長崎国体女子セブンズエキジビションマッチ 平成26年 10月20日 長崎
- (7)代表候補強化合宿 平成26年 11月 (未定)
- (8)第4回九州ガールズフェスタ 平成26年 11月 長崎
- (9)全国高校女子選抜大会予選 平成27年 2月 (未定)
- (10)サニックス ガールズセブンズキャンプ 平成27年 3月 福岡



## 16. 個人登録制度(傷害見舞金事業)

- (1) 傷害見舞金審査委員会 月1回 福 岡
- (2) 登録状況及び見舞金発生状況分析と 随時  
改善策の立案と理事会への答申

以上